

第1課 巨人といなご

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

1人来るたびに、その子の名前を言って、その場にいる人たちに歓声をあげてもらいます。
どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)と、先週の聖書ガイドの学びについて話したいことがあるかどうかを尋ねましょう。
お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A ほっとメッセージ 準備:ポストイットのような、のりのついたメモ用紙を2人に1束ずつ、
ペン、鉛筆、マーカー、綿、ラメ、のり

◎ 活動

- ・子どもたちを2人1組にします。字の書けない子は書ける子と組ませてください。
- ・子どもたちは「ほっとメッセージ」をできるだけたくさん書いて、他の子どもたちに貼ります。
- ・「ほっとメッセージ」とは、相手に対する優しい言葉を書いたメモを、綿やラメなどで飾ったものです。
(注意:メモに書かれた言葉が優しいものであるか、また、仲間はずれになっている子どもがいないかどうかを気をつけてください。)

◎ 話し合しましょう

- ・大人たちは書かれたメッセージを褒めて、子どもたちがメモを読むのを手伝ってください。
- ・「クラスのお友だちに励ましの言葉を書くのはどんな気分でしたか。」
- ・「自分あてのメッセージを読んで、どんな気分になりましたか。」
- ・「何かたいへんなことがあるときに、誰かに勇気付けるようなことを言われたらどんな気持ちになるでしょう。」(気分がよくなる。希望が出てくる)
- ・ヘブライ10:25を声に出して読みます。
- ・「言葉というのは大切なものです。周りの人に希望を与えることができます。」
- ・「今週のメッセージを覚えましょう。」

メッセージを一緒に言いましょ

私たちは励ましあいながら神さまに従います。

B 輪ゴムのプレスレット 準備:大きな輪ゴム、カットフルーツなどのおやつ

◎ 活動

- ・子どもたちを輪になって座させます(大人数のクラスでは、8-10人のグループをつくります)。
- ・子どもたちは、両隣の人と手をつなぎ、その手を上げます。
- ・つないだ手の手首に、輪ゴムをはめていきます。輪の中の全員が、手首の輪ゴムでつながれてい

る格好になります。

- ・一人ひとりの目の前に、カットフルーツやレーズン、ナッツなどのおやつを置いていき、食べるように勧めます。
- ・食べられないと言ってくるかもしれません。みんなが食べられる方法を探す時間を与えます。
- ・必要に応じて、自分の右側にいる人に食べさせてあげるよう指示してください。

◎ 話し合しましょう

- ・「今どんなことをしましたか。」(他の人に食べさせてあげた。みんな食べることができた)
- ・「みんなが食べられる方法を見つけるのは難しかったですか。」(はい。多分)
- ・「周りにつながっているということに関して、何を学びましたか。」(お互いに助け合わないといけない。1人のすることが、他の人に影響を与える)
- ・「手首をつながれたままおやつを食べさせあうことと、私たちの教会とは、どんなことが似ていますか。」(私たちは教会でもお互いに助け合わないといけない)
- ・ヘブライ10:25を声に出して読みます。
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私たちは励ましあいながら神さまに従います。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・仲間を励ました人は誰でしょう。励ましを必要としていた人は誰でしょう。

◎ 献金 準備:プラスチックのぶどうのついた献金入れ

- ・「今日の献金は、人々が励ましの言葉を聞き、主に従いたい気持ちになるために使われます。」

◎ お祈り

- ・小さなグループをつくり、子どもたちはお互いに励ましの祈りをします(オプション:声に出して祈りたくない子がいたら、大人が代わりに祈ってあげます)。

第2課 エリコからのだっしゅつ

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)と、先週の聖書ガイドの学びについて話したいことがあるかどうかを尋ねましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 赤いひも 準備: 赤い毛糸またはひも、はさみ、(オプション:くし)

◎ 活動

- ・子どもたちが、イエスさまが一番大切であるということをいつも覚えていられるように、赤いひもをつくって持ち帰らせます。
- ・一人ひとりに2、3メートルの毛糸を配ります。子どもたちはその端を結んで円をつくります。
- ・次にペアをつくり、手に毛糸を巻きつけて、毛糸がピンと張るくらい離れて立ちます。
- ・それから、手を反対方向に回して、毛糸をねじっていきます。
- ・毛糸がねじれたら、真ん中を持ち、毛糸の張りを保ちながら、両端を一緒にして1人が持ちます。
- ・少しずつ、毛糸の中心だったところを動かして、張った状態を解いていきます。
- ・毛糸は絡まりあって太いコードになります。両端をそれぞれ結んで、ほどけないようにします。
- ・オプション: 端にふさをつけても良いでしょう。端っこを切ってくしですき、少し上の部分を結ぶとふさになります。

◎ 話し合しましょう

- ・「今日のお話には、神さまに従うことが人生で一番大切だということを知っていた女の人が出てきます。その人は自分の気持ちを表すために、窓に赤いひもを結びました。みんなも自分の赤いひもを持ち帰ってドアやドアノブに結び、何が大切かを知っていることを表しましょう。」
- ・マタイ6:33を声に出して読みます。
- ・「神の国はどうやったら求めることができますか。」(神さまに自分の人生の王さまになっていただくことで)
- ・「私たちは教会で、イエスさまに従うことが一番大切だということを学びます。みんなはお家でも、イエスさまを第一にしていますか?」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私は教会の家族と共に、何が大切かを学びます。

B 選んでみよう 準備:お皿、様々な種類の小さなプレゼント

(シール、ビー玉、コイン、レーズン、ナッツ、など)

◎ 活動

- ・お皿に小さなプレゼントをきれいに並べます。
- ・子どもたちが2回ずつ取っても余るくらいの量を用意してください。同じ物があってもかまいません。
- ・子どもたちは1人ずつ前に出て、好きなものを選んでまた座ります。
- ・全員に順番が回ったら、もう1度出て、また好きなものを選びます。

◎ 話し合いましょう

- ・「最初のプレゼントを選んだ理由は何ですか。」
- ・「2番目のプレゼントを選んだ理由はなんですか。」
- ・「何を選ぶかをどうやって決めましたか。」
- ・「良いものばかりだと、どれを選んだらいいのか難しいことがありますよね。けれども、私たちがいつも選ばなければならない大切なものが1つあります。」
- ・マタイ6:33を声に出して読みます。
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私は教会の家族と共に、何が大切かを学びます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・「イエスさまを自分の一番大切な人にしたのは誰でしょう。」

◎ 献金 準備:イエスさまの絵に、「イエスさまが一番大切」という言葉をつけた献金入れ

- ・「私たちの献金は、人々が、イエスさまに従うことが人生で一番大切だということを知るために使われます。」

- ◎ お祈り 準備(人数分): 数字の「1」の形をした切り抜き、
イエスさまの小さな絵(またはシール)、ペンまたは鉛筆、のり
- ・切り抜きを配ります。子どもたちはそこにイエスさまの絵かシールを貼ります。
 - ・それから、祈りたい相手の名前を書きます(まだイエスさまを一番にしていない人を選びます)。
 - ・そして、もしイエスさまを一番大切にしたいと思ったら、自分の名前もその切り抜きに書きます。
 - ・各自黙祷する時間を取ります。
 - ・最後に全体で、神さまとの約束のお祈りをします。

第3課 あれくるう川をわたる

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)と、先週の聖書ガイドの学びについて話したいことがあるかどうかを尋ねましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 酸の川を渡る 準備: マスキングテープ、人数分の紙

◎ 活動

- ・子どもたちを6つ以下のグループに分けます。
- ・マスキングテープで床に印をつけ、そこが川の土手ということにします。川幅は、グループ内の人数分の歩幅にします。つまり、10人グループだったら、10歩分の広さにします(大人数のクラスでは、全部のグループが一度に活動できるだけの長さの川をつくってください。または、川を何本か作りましょう)。
- ・子どもたちに紙を1枚ずつ配ります。そして、この川には酸が流れていて、水に触れたら直ちに溶けてしまうと想像するように言います。
- ・この紙を飛び石に使うと、川を安全に渡ることができます。グループの全員が安全に川を渡り、紙をすべて回収することが、この活動の目標です。それ以外の指示は与えずに、自分たちで川を渡る方法を考える時間を何分か与えます。もしどのグループもわからなければ、解決法をデモンストレーションします。もし渡れたグループがあれば、そのグループにデモンストレーションをしてもらいましょう。
- ・(川を渡るには、1人がグループの全員から紙をまず集めます。そしてその紙を1枚ずつ自分の前に置きながら川を渡っていきます。最後の人は、後ろの紙を1枚ずつ回収しながら渡ります)。

◎ 話し合しましょう

- ・「最初に先生の指示を聞いたとき、そんなことできるわけがないと思いましたか。」
- ・「酸の川を渡れたのはなぜでしょう。」(協力したから。力をあわせたから。やり方を知っている人の指示に従ったから)
- ・「リーダーがいなくても川を渡る方法があったと思いますか。」(いいえ。はい。多分)
- ・「今日は、聖書の中から、神さまの民が不可能と思える状況で川を渡ったというお話をします。その人たちにもリーダーが必要でした。」
- ・ヨシュア3:5を読みます。「これが今日の暗唱聖句です。一緒に言ってみましょう。『ヨシュアは民に言った。「自分自身を聖別せよ。主は明日、あなたたちの中に驚くべきことを行われる。』』ヨシュア3:5。」
- ・「神さまは、私たちの中にも驚くべきことを行いたいと思っておられます。そして私たちを助けるためにリーダーを与えてくださっています。それが今日のメッセージです。」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまのためにすばらしい働きができるように、
神さまは私たちにリーダーを与えてくださいます。

B リーダー探し

◎ 活動

- ・子どもたちは輪になって座ります。
- ・オニを1人決め、部屋の外に出てもらいます。
- ・その間にリーダーを1人決めます。
- ・リーダーは、指をならしたり、肩をたたいたり、お腹をさすったり、耳をかいたりといった単純な動作をしていき、他の人たちはリーダーの動きを急いで真似します。
- ・みんなが最初の動作を始めてからオニを部屋に入れ、オニは誰がリーダーかを当てます。
- ・リーダーは、3つか4つの動作をするか、オニに当てられたら交代します。
- ・リーダーとオニを変えて何度かやってみましょう。

◎ 話し合いましょ

- ・オニをした子どもに尋ねます。「リーダーを探すのは難しかったですか。それはなぜですか。」
- ・リーダーをした子どもに尋ねます。「良いリーダーになるのは難しかったですか。それはなぜですか。」
- ・その他の子どもに尋ねます。「誰が良いリーダーでしたか。なぜですか。良いリーダーとはどんなリーダーですか。」
- ・子どもたちと一緒にメッセージを言います。

メッセージを一緒に言いましょ

神さまのためにすばらしい働きができるように、
神さまは私たちにリーダーを与えてくださいます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。

- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・「神さまは、世界中の様々な場所で毎日素晴らしい働きをなさっています。この伝道地便りでも、神さまのお働きを知ることができます。」
- ・子どものための伝道地便りか、その他の手に入るお話を読みます。

- ◎ 献金 準備:「神さまがおられれば、私たちは素晴らしい働きができる！」という言葉をつけた献金入れ
- ・「神さまは、私たちのお金を使って素晴らしいことをすることができます。この献金は、人々に、私たちがお仕えする神さまと、その素晴らしいお働きについて知らせるために使われます。」

◎ お祈り 準備:クラスの祈りの課題ノート または黒板とチョーク

- ・子どもたちを何人かのグループに分けて、祈りの組を持ちます。
- ・グループ内で、神さまがくださった素晴らしいことを1人ずつ言っていき、みんなで感謝のお祈りをします。
- ・最後に全体で、神さまがクラスのみんなや教会の人たちにくださった素晴らしいお働きに感謝のお祈りを捧げます。
- ・神さまがくださったリーダーのことも感謝し、私たちがそのリーダーに喜んで協力することができるよう祈りましょう。

第4課 ちんもくの戦い

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

パズルのピースを渡して、他の人と協力してパズルをするように言います。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A パズル 準備: 50ピース以下のジグソーパズル

◎ 活動

- ・50ピース以下のジグソーパズルを用意して、子どもたちが教室に来たらそのピースを数個ずつ渡していきます。
- ・1ピースだけ残しておいてください。
- ・子どもたちは協力してパズルをします。

◎ 話し合しましょう

- ・最後の1ピースを残してパズルが完成したら、「このパズルで一番大切なピースはどれですか」と聞きましょう。
- ・最後のピースをはめ、別のピースを取ります。「さあ、今はどれが一番大切なピースでしょう。」(足りないピース)
- ・「このパズルは、どんな点が教会の家族と似ていますか。」(みんなが大切なところ。いない人がいると寂しいところ)
- ・「そんなに大切な存在だということを知ると、どんな気分になりますか。」(いい気分。必要とされていると感じる)
- ・「今日のメッセージと一緒に言いましょう。」

メッセージと一緒に言いましょう

私たちは手に手を取って働きます。

B 教会の家族の肖像画 準備: 人数分の白い紙、クレヨン、色鉛筆、マーカーなど

◎ 活動

- ・教会の人の肖像画を描きます。子どもたちが知っている人の例を挙げてあげましょう。牧師、ソングリーダー、長老、他の安息日学校の先生などです。
- ・絵が仕上がったら、それを今日のメッセージの書かれた掲示板に貼ります。
- ・みんなはそれぞれの絵を見て、それが誰を書いたものか、そしてその人が教会でどんな働きをしているかを話し合います。

◎ 話し合しましょう

- ・「教会で一番大切な人は誰ですか。」(誰かがイエスさまと言ったとき以外は、誰かが他の人よりも大切だということはないことを強調してください。私たちはみんな、子どもたちも含めて、教会という大きな家族の一員なのです)
- ・詩編133:1を声に出して読みます。
- ・「自分が教会で必要とされている大切な存在だと思いますか。それはなぜですか。」
- ・「教会を、みんなが協力して働きたくなるような場所にするために、あなたにできることはなんでしょう。」(教会で奉仕してくれている人にありがとうと言う。頼まれたときにお手伝いをする。教会のリーダーのために祈る。など)
- ・「今日のメッセージは何でしょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私たちは手に手を取って働きます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・お話を聞いた子どもたちが、神さまの交わりの中にある人たちが協力して働く様子がわかるようにしてあげてください。

◎ 献金 準備:コインと紙幣の絵と、「コインと紙幣は協力して神さまのために働きます」という言葉をつけた献金入れ

- ・「私たちは、自分のお金を献金することで、神さまの教会を助けます。それはお友だちのお金と一緒にあって、人々にイエスさまのことを伝えます。」

◎ お祈り

- ・お祈りの前に、教会でやりたい奉仕を尋ねます(献金を集める、週報を配る、など)。
- ・祈りの課題も挙げさせましょう。
- ・子どもたちは輪になって手をつなぎます。
- ・そして順番に、自分の右側にいる人と教会のために祈ります。
- ・最後に教師が、一人ひとりの子どもをこの教会に与えてくださったことと、みんなを用いてくださるこ

とに感謝のお祈りをします。

第5課 まいご

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)と、先週の聖書ガイドの学びについて話したいことがあるかどうかを尋ねましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 鏡よ鏡

準備: ニュース雑誌または新聞、はさみ

◎ 活動

- ・子どもたちに、しかめ面と笑顔の練習をする時間を与えます。
- ・それから、みんなにその顔を見せてもらいます。
- ・古いニュース雑誌か新聞を配ります。子どもたちはそこから顔の写真を切り抜き、しかめ面か笑顔かに分類します。
- ・全員から見えるところに写真を貼りましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「しかめ面と笑顔、どちらが良い表情ですか。どちらが良い気分になりますか。どちらの人のそばに座りたいですか。」
- ・「ニコニコしていると、家ではどんな良いことがありますか。学校ではどうでしょう。」
- ・申命記10:12を声に出して読みます。
- ・「心を尽くし、魂を尽くして仕えるとは、どういうことでしょう。」(心からそうしたいと思って仕えること。仕えることができると嬉しいと思うこと。など)
- ・「もし心を尽くし、魂を尽くして仕えていたら、その人はしかめ面をしているのでしょうか。それとも笑顔でしょうか。」(笑顔)
- ・「私たちはどこで神さまに仕えることができますでしょう。」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私はどこにいても神さまにお仕えすることができます。

B 家族の荷物

準備: 紙袋を5人に1つずつ、Lサイズの洋服、おやつ、

身支度を整えるために使う用具

- ・洋服の例: シャツ、ブラウス、スウェットパンツ、ドレス、セーター。

(服の上から着られるくらい大きなサイズのもの)

- ・おやつ例: レーズン、ナッツ、カットフルーツ、クラッカー、ジュースの入った哺乳瓶
- ・身支度用具例: くし、赤ちゃんのお尻拭きまたはウェットティッシュ、ヘアブラシ、リボン、ベビーローションまたはハンドクリーム

◎ 活動

- ・5人以下のグループをつくり、そのグループは「家族」になります。
- ・各グループに、おやつ、L サイズの服、身支度用具が、1人につきそれぞれ1つずつ入った紙袋を配ります。
- ・一人ひとりがそのバッグから各カテゴリーのアイテムを1つずつ取り出し、自分の右側にいる人にそれを食べさせ、着せ、それを使って身支度をさせます。
- ・全員が5分以内にお世話をしてもらわなければなりません。

◎ 話し合しましょう

- ・各「家族」に、自分たちのメンバーを紹介してもらいます。
- ・「うまいきましたか。みんなが笑顔でいられたか。協力的でしたか。素直でしたか。お手伝いをよくしましたか。」
- ・「この活動は、どうしたらもっと簡単にできたと思いますか。」
- ・「この家族は、本当の家族とどんなところが似ていますか。」
- ・「この活動は、私たちが家ですることとどんなところが似ていますか。」
- ・「私たちは、どうしたら家の中のことをもっとうまく進めることができるでしょう。」
- ・申命記10:12を声に出して読みます。
- ・「私たちはどうやって家族に仕えたらよいでしょうか。」(笑顔で従い、手助けすることで)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

私はどこにいても神さまにお仕えすることができます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。

- ・お話の中の、陽気な態度の人や、指導者に敬意を払った(または従った)人を取り上げてください。
- ・「この人が仕えたことで、どうなりましたか。」と尋ねます。

◎ 献金 準備:ニコニコマークのついた献金入れ

- ・コリント2・9:7下句「喜んで与える人を神は愛して下さるからです。」を読みます。
- ・「私たちは喜んで捧げるとき、神さまにお仕えしているのです。」

◎ お祈り

- ・お祈りをするだけでも神さまに仕えることができます。
- ・今日は子どもたちに、目を開けたまま祈りましょうと言ってください。
- ・次に挙げるお祈りのカテゴリーの、1つ目をまず伝えます。それについて子どもたちが順番にお祈りをしたら、次のカテゴリーに進みましょう。
 - ①素晴らしい神さまを讃える
 - ②間違っただ行いを許してくださいと祈る
 - ③喜んで周りの人に仕える方法を教えてくださいと祈る
 - ④助けを必要としている人のために祈る
 - ⑤答えていただいた祈りに感謝を捧げる
- ・最後に全員で目を閉じて、短いお祈りをします。

第6課 全力をつくした少年

教室の入り口で生徒たちを迎えます。どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

子どもたちに学習ステーションを選ばせ、そこでの指示に従うように言います。または、あなたの考えた「お話の前に」を始めます。

今週は、「お話の前に」を4つのステーションに分けて行います。これは少年イエスが学んだ様々な学校を表しています。作業が終わった生徒は、次のステーションに進みます。(少人数の教会や、極端に人数の多い教会では、教室の前方にステーションを設けてください。生徒たちは順番に前に来て活動します。)

A 大工の仕事場

準備: 人数分の木切れ、かなづち、釘、サンドペーパー、ねじ、ドリル、ドライバーなど

◎ 活動

- ・子どもたちに、かなで滑らかにした木切れを与え、大工ステーションの道具を使うように言います。
- ・子どもたちは木切れに釘を打ったり、サンドペーパーをかけたりします。
- ・教師や大人のアシスタントが監督して、子どもたちが上手にできるよう励まします。

◎ 話し合しましょう

- ・「もし自分のお父さんが大工さんだったら、どんなことを習うと思いますか。」(木材の扱い方)
- ・「木材を扱うことによって、何を学ぶことができるでしょう。」(役に立つ物をつくる方法。一生懸命働くこと。辛抱強さ。仕事を最後までやりぬくこと。など)
- ・「大工の仕事場は、イエスさまの学ばれた学校のひとつでした。イエスさまはそこで何を学んだと思いますか。」(良い仕事をする。気分が乗らないときでも働き続けること)
- ・「みんなはそこから何を学ぶことができますか。」(ベストを尽くすこと)
- ・「ベストを尽くすとき、誰に仕えていることになりますか。」(神さま。周りの人々)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

全力を尽くすとき、私は神さまにお仕えしています。

B お母さんのそば 準備: ホムスの材料(レシピ参照)、ピタパン、電気プレート

・ホムスのレシピ

<材料>

中くらいの大きさの缶に入ったひよこまめ。ザルにあけて、漬け汁はとっておく

ニンニク2、3片

オリーブオイル 大さじ3~4

ゴマペースト 小さじ2~3

レモン汁

塩

<つくり方>

すべての材料をミキサーかフードプロセッサーで混ぜる。濃すぎれば、ひよこまめの漬け汁を少し加える。パセリと少量のオリーブオイルで風味をつける。

◎ 活動

- ・教室で子どもたちにホムスをつくらせてもいいですし、あらかじめつくっておいて、子どもたちに来上がった物をかき混ぜてもらうだけにしてもかまいません。
- ・子どもたちは電気プレートの上でピタパンを温めます。
- ・パンを三角に切り、子どもたちはそれをホムスにディップして食べます。
- ・その後で子どもたちをあなたのそばに集め、イエスさまがお母さんのそばにいる様子を想像させます。
- ・イエスさまはそこで祈ることを学びました。そして、読み方、書き方、算数と、聖書の物語も学びました。
- ・この機会に、神さまに答えていただける祈りについて話してください。

◎ 話し合しましょう

- ・「みんななら、マリアにどんなことを尋ねたいですか。」(みんなの答えを聞きます)
- ・「マリアはイエスさまに、祈りについてどんなことを教えたと思いますか。」(神さまはいつも祈りを聞いて答えてくださる。神さまが心の深いところに語られることを聞かなければならない。神さまは祈りに答えるために人を用いることがある。など)
- ・「イエスさまは他にどんなことをマリアから学んだでしょう。」(従うこと。分け合うこと。仕えること。暗唱聖句を覚えること。ベストを尽くすこと)
- ・「お母さんのそばにいて、どんな気持ちになりますか。」(安心する。お母さんに近づいた気がする。お母さんはイエスさまについて教えてくれるので、お母さんのそばにいてイエスさまの近くにいる気がする)
- ・「みんなはお母さんからどんなことを学びましたか。」(イエスさまについて。正しいことをすること。全力を尽くすこと。など)
- ・「みんなもイエスさまのように全力を尽くしたいですか。」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

全力を尽くすとき、私は神さまにお仕えしています。



自然の学校

準備：人数分の松ぼっくり、ピーナッツバター、鳥のえさ用の種

またはプラスチック製の水差し、鳥のえさ用の種

または自然物の標本

◎ 活動

- ・子どもたちと一緒に、簡単な鳥のえさやり器をつくりましょう。
- ・松ぼっくりの表面にピーナッツバターを塗り、種をまぶしてもつくれますし、プラスチック製の水差しの側面に丸く穴を空け、中にえさ用の種を入れても良いでしょう。
- ・または、自然物の標本を持ってきて、子どもたちに観察させましょう。

◎ 話し合いましょう

- ・「イエスさまは、神さまのつくられた物にどう接しましたか。」(優しくした)
- ・「自然は、神さまについてどんなことを教えてくれますか。」(神さまは私たちの世話をしてくださる。神さまは私たちをととても愛しておられるので、私たちのために特別な物をつくってください)
- ・「自然もイエスさまの学校でした。イエスさまはそこで、神さまは最高の物をつくれるということを学ばれました。イエスさまは自然について勉強し、多くのことを学んで、人々に神さまのことを教えるときにその知識を生かしました。」
- ・「みんなは自然の学校の良い生徒ですか。」
- ・「今日のメッセージを言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

全力を尽くすとき、私は神さまにお仕えしています。



祈りの学校

◎ 活動

- ・このステーションでは、先生が、そこに来た生徒たちと一緒に祈ります。

◎ 話し合いましょう

- ・「イエスさまは、天のお父さまとお話することで、どんなことを学びましたか。」(神さまが、その日すべきことや、それを上手にする方法をわからせてくださるということ。など)
- ・「あなたは祈りするとどんなことを学びますか。」(神さまが、毎日何をしたら良いのか、どうやったらそれを上手にできるのかをわからせてくださる。どうしたら神さまのようになれるのかを忘れないようにさせてくださる。など)
- ・「お祈りについてどう思いますか。」(自分に必要である。神さまとお話ししないではやっていけない。私に勇気や能力をくれる。など)
- ・「あなたは毎日お祈りしていますか。」

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・お話の前に、物事を学ぶには様々な場所や方法があることを強調してください。
- ・そして、お話の中の誰が神さまについて学ぶことができたかを考えながら、よく聞くように言ってください。

◎ 献金 準備:木製のボウル

- ・木製のボウルで献金を集め、子どもたちにイエスさまが父親の大工の店で働いていたことを思い起こさせます。
- ・子どもたちに、自分のベストを尽くして献金を捧げるよう促してください。神さまを第一にすると、手元に残ったお金にも多くの祝福が与えられます。

◎ お祈り 準備:本の形の切り抜き

- ・一人ひとりに本の形の切り抜きを配ります。そこに、もっとよくできるようになりたい学校の科目を字か絵でかかせましょう。
- ・各自黙祷で、イエスさまに助けを求めます。
- ・最後に、子どもたちがベストを尽くすことができるように(声に出して)お祈りして終わります。

第7課 ぶどう酒が足りない！

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A

婚礼衣装

準備:トイレットペーパー、セロファンテープ、

(オプション:白い布やサリー、白い紙袋、アルミホイル、花、など)

◎ 活動

- ・花嫁(子どもたちが飾りをつける間、じっと立ってられる子)を1人選びます。
- ・他の子どもたちは、トイレットペーパーやその他の材料を使って、ドレスとベールをつくります(大人数のクラスでは、子どもたちをグループに分け、グループごとに花嫁を選んでください)。
- ・花婿にも衣装を着せましょう。
- ・この活動は5-10分程度で終わらせてください。
- ・散らかったものをみんなで片付けてから、仕上がった婚礼衣装を鑑賞しましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「結婚式の準備には、どれくらいの作業が必要ですか。」(たくさんの作業)
- ・「結婚式ではどのような奉仕をすることができるでしょうか。」(準備を手伝う。食べ物を配るのを手伝う。お客さまのおもてなしをする)
- ・「あなたはどこにいても奉仕をすることができます。結婚式でも、学校でも、家でも、教会でもです。」
- ・ペトロ1・4:10を読みます。
- ・「奉仕をするとき、私たちは神さまからいただいた賜物を使っているのです。優しい人は、人に優しくすることで奉仕することができます。」
- ・「みんなは周りの人を助けるのが楽しいですか。」(はい。ときどき。など)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

奉仕をするとき、私は神さまのお友だちをつくっています。

B

披露宴のごちそう

準備:「ウエディングケーキ」、

またはクッキーとパンチ、または装飾付カップに入ったナッツ

◎ 活動

- ・「ウェディングケーキ」か、クッキーとパンチ、または装飾付カップに入ったナッツを配ります(または、子どもたちにナッツ用カップを装飾させ、ナッツを入れて持ち帰らせても良いでしょう)。
- ・子どもたちが自分たちの作品を見ている間、または配られたおやつを食べている間に、話し合いをします。

◎ 話し合いましょう

- ・「あなたが結婚式を挙げるとします。もしお友だちがパーティーを開いてプレゼントをくれたとしたら、どんな気持ちになりますか。」(感謝する。うれしい)
- ・「イエスさまにはたくさんのお友だちがいて、みんなイエスさまと一緒にいたいと思っていました。ですから、イエスさまは結婚式にも招かれました。イエスさまはそのパーティーで、人々に奉仕をなさいました。」
- ・ペトロ1・4:10を読みます。
- ・「賜物を生かして仕えるとは、どういう意味ですか。」(得意なことをすること、周りの人を助けること)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

奉仕をするとき、私は神さまのお友だちをつくっています。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・「お話の中では、誰がお友だちをつくっていましたか。誰がお友だちになりましたか。そのことでどうやって神さまに奉仕していましたか。」

◎ 献金 準備:きれいな装飾をしたお皿かバスケット

- ・きれいな装飾をしたお皿かバスケットで献金を集めます。

◎ お祈り

- ・2、3人で組になります。子どもたちは、友だちを必要としている人の名前を挙げて、その人のためにグループ内でお祈りします。

- ・みんなが友だちを必要としている人に気づき、勇気を持って喜んで助け、神さまのお友だちを増やすことができるように祈ります。

第8課 この子の名前はヨハネ

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 絵スチャー 準備: 紙、鉛筆、バスケットまたはボウル

◎ 活動

- ・小さな紙切れに聖書の登場人物の名前を書いて、ボウルに入れておきます。
- ・子どもたちは、自分の選んだ紙にある人物の絵を黙って描き、他の生徒に当ててもらいます。

◎ 話し合いましょう

- ・「話さないで人に意思を伝えようとするのは、どんな感じでしたか。」(イライラする。おもしろい。など)
- ・「こんな状態が9か月続いたとしたらどうでしょう。今日のお話に出てくるザカリアは、9か月間口がきけなくなりました。神さまは特別な計画を持っておられたのですが、ザカリアは最初それを疑ってしまったのです。」
- ・「神さまは、私たちみんなに対して計画を持っておられます。」ルカ1:76を読みます。
- ・「その計画とは何でしょう。」(人々にイエスさまを受け入れる準備をさせること)
- ・「周りの人にイエスさまを受け入れる準備をさせるため、あなたなら何をしますか。」(必要なときに助けてあげる。優しくする。イエスさま彼らを愛しておられ、彼らを救うために死なれたことを伝える。など)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

人々に奉仕することで、

私は神さまへの道を用意することができます。

B 道を整える 準備: 大きなバスケット、おもちゃ、聖書、衣類、食べ物、

雑巾、おもちゃのくま手、ブラシとちり取りなど その他の小さな家事道具

◎ 活動

- ・準備した品を大きなバスケットに入れます。
- ・子どもたちはバスケットから何か1つ選び、それを使って周りの人のイエスさまへの道を整える方

法を話します。

例)

- 1 優しく貸してあげることで、イエスさまへの道を整える(おもちゃ)
- 2 お友だちに聖書の話をするので、イエスさまへの道を整える(聖書)
- 3 服を必要としている人に服をあげることで、イエスさまへの道を整える(衣類)
- 4 ホームレスの人に食べ物をあげることで、イエスさまへの道を整える(食べ物)
- 5 周りの人のお手伝いをするので、イエスさまへの道を整える(雑巾、おもちゃのくま手、ブラシとちり取り、など)

◎ 話し合しましょう

- ・「今の活動で、神さまへの道を整えることについて何を学びましたか。」(人々にイエスさまを受け入れる準備をさせるには、色々な方法があること)
- ・「今みんなが言ったようなことをするとき、どんな気持ちになるでしょう。」(周りの人が喜ぶのを見て嬉しくなる)
- ・「来週、お友だちにイエスさまを好きになる準備をさせるため、どんなことをしたいと思いますか。」(優しくする。自分の物を貸してあげる。イエスさまが愛しておられることを伝える。貧しい人を助ける。近所の人のお掃除を手伝う。など)
- ・「今日のメッセージと一緒に言いましょう。」

メッセージと一緒に言いましょう

人々に奉仕することで、

私は神さまへの道を用意することができます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・「宣教師たちは、神さまのご計画のために働いています。彼らは人々に奉仕して、神さまを受け入れる準備をさせているのです。」

◎ 献金 準備:トランペットの絵と、「道を整えよ!」と書いた献金入れ

・「神さまはすべての人に、イエスさまを知って救われてほしいと思っておられます。」

・「みんなの献金は、人々が神さまの救いの計画を知るための道を整えます。」

◎ お祈り

・神さまの救いの計画に用いていただきたいと思う生徒に、手を挙げてもらいます。

・それから輪になり、3人の生徒が下記の祈りを声に出して捧げます。それから各自でこの祈りを黙禱します(この祈りはあらかじめ練習しておきます)。

・「神さま、〇〇さんがあなたのことを知りたいと思うように、〇〇さんのために〇〇をしてあげられるようにしてください。」

第9課 わたしは幸せな者

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。「お話の前に」を始めます。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A

神さまのすばらしい贈り物

準備: 人数分の小さなプレゼント

◎ 活動

- ・子どもたちは、あなたに向かって横一列に並びます(大人数のクラスでは、何列かつくってください)。
- ・「先生が『神さまの』と言ったら、左へ一歩進んでください。『すばらしい』と言ったら右へ一歩進んでください。『贈り物』と言ったら、動かずにじっとしててください。」
- ・「間違っただけには席に座ってもらいます。最後まで残った人にはご褒美がありますよ。」
- ・言葉をランダムに言っていき、間違っただけには抜けてもらいます。
- ・段々言い方を早めていって、子どもたちがついてくるのが難しいくらいにしましょう。
- ・子どもが1人だけ残ったら、全部のプレゼントを渡します。その子に、クラスの全員に1つずつ配り、最後に自分の分を取るように言ってください。

◎ 話し合しましょう

- ・「『神さまのすばらしい贈り物』ゲームは楽しかったですか。それはなぜですか。」
- ・「みんなは、このゲームの元々のルールに従ってプレゼントをもらったのですか。」
- ・「違いますね。それは〇〇ちゃん(ゲームの勝者)だけですね。本当ならもらえるはずでしたか。どうしてもらえたのでしょうか(プレゼントされた)。」
- ・「神さまは私たちにもプレゼントをくださいました。イエスさまというプレゼントです。今日の暗唱聖句は、『言葉では言い尽くせない贈り物について神に感謝します。』です。これはコリント2・9:15にあります。」
- ・「私たちはイエスさまという贈り物を自分の力で獲得したわけではなく、その贈り物を受けて当然な立場だったわけでもありません。そういったことは関係なく、神さまは、私たちを罪から救うためにイエスさまを送ってくださったのです。」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは、神さまが私にくださった贈り物です。

B 袋の中の贈り物 準備: みんなで分け合えるような

ギフトラップされたプレゼント(クッキーの詰め合わせなど)、紙袋

◎ 活動

- ・あらかじめ、クラス全体で分け合えるようなプレゼント(クッキーの詰め合わせなど)をラッピングして、紙袋に隠しておきます。
- ・プレゼントを見せながら言います。「今日は、クラスの誰かに開けてもらいたいプレゼントを持ってきました。でも、ただあげてしまうわけにはいきません。これはとても貴重な物です。これにふさわしい人を選びたいと思います。」
- ・「このプレゼントと引き換えに、先生に何をくれますか。」(子どもたちの申し出を聞きます)
- ・「それでは、このプレゼントを開ける権利のために、先生に何をしてくれますか。」(再び子どもたちの申し出を聞きます)
- ・一番ささいなことを申し出た子どもにプレゼントを渡します。

◎ 話し合しましょう

- ・「このプレゼントのために、一番すごいことを言ったのは誰でしょう。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・その生徒に尋ねます。「どうしてこれがそんなに欲しかったのですか。これを〇〇ちゃんにあげたとき、どんな気持ちになりましたか。」(ずるい)
- ・「どうして〇〇ちゃんを選ばれたと思いますか。」(それほど欲しがっていなかったから)
- ・この頃には、プレゼントは開けられているでしょう。プレゼントを開けた子に、箱をみんなに回すように言います。
- ・「このクッキーのプレゼントは、イエスさまという贈り物とどんなところが似ていますか。」(自分の力でもらうことができない。1人のものではない。もらえるはずがないと思われる人にも与えられる。など)
- ・「神さまからの、イエスさまという贈り物についてどう思いますか。」子どもたちの答えを聞きます。
- ・「コリント2・9:15を読みましょう。」聖句を声に出して読みます。
- ・「この聖句はあなたの気持ちを表していますか。」
- ・「今日のメッセージは何でしょう。」一緒に言います。

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは、神さまが私にくださった贈り物です。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。

- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りか、その他の手に入るお話を 읽みます。

◎ 献金

準備:ラッピングされた箱にイエスさまの絵を貼り、

上部に献金を入れるための穴をあけた献金入れ(11課でも使います)

- ・「私たちの献金は、人々がイエスさまという贈り物を知るために使われます。」

◎ お祈り

準備:1か月分の無地のカレンダーを人数分、カレンダーの装飾に使うラメなど、
筆記用具、星型の紙やシール

- ・子どもたちはカレンダーの格子に12月の日付を書き込みます。
- ・それから、そのカレンダーを装飾して、「祈りのカレンダー」をつくります。
- ・それぞれの日付のところに、誰かの名前、計画、行事などの、祈りの課題を書き入れていきます。
- ・その祈りが答えられたら、その日付の所に星型かシールを貼り、イエスさまに感謝します。
- ・子どもたちは、これを持ち帰って家で使います。
- ・今月は、安息日学校のお祈りの時間に、子どもたちにこのカレンダーの祈りが答えられたかどうかを聞きましょう。
- ・最後に、イエスさまという贈り物をくださったことを神さまに感謝し、イエスさまが何よりもすばらしい贈り物だということを忘れないようにと願うお祈りをします。

第10課 おそれることはない！

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 「怖いもの」のポスター

準備: 工作用紙、マーカー、(オプション: 雑誌や新聞、はさみ、のり)

◎ 活動

- ・子どもたちは、自分が怖いと思うものの絵を描いたポスターをつくります。
- ・オプション: 雑誌や新聞から絵や言葉を切り抜いて紙に貼り、コラージュをつくります。またはその切り抜きで怖いものの貼り絵をつくります。

◎ 話し合しましょう

- ・「どんなポスターができましたか。」(みんなで見せ合います)
- ・「子どもが一番怖がる物は何でしょう。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・もし誰も「神さま」と言わなかったら、こう尋ねます。「みんなは神さまが怖いですか。それはなぜですか。神さまは私たちに怖がってほしいと思っておられるでしょうか。」
- ・ルカ1:13を読みます。
- ・「神さまは天使を送って、『恐れるな』とおっしゃいました。それが今日のメッセージです。」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまは私のお友だちです。怖がる必要はありません。

B 触ってみよう 準備: 紙袋6-8枚、ビニール袋6-8枚、袋の中に入れるアイテム6-8種類

◎ 活動

- ・紙袋を6-8枚用意し、それぞれの内側にビニール袋を入れておきます。
- ・袋の中に、それぞれ異なった手触りのアイテムを入れ、子どもたちに触らせます。
例) 茹で麺(ポウルかビニール袋に入れたもの)、とげとげの松ぼっくり、綿、毛皮(またはふわふわのぬいぐるみ)、砂、ごつごつした石、生米、ねばねばの練り粉(粉に少量の水を入れ、ねばねばするまで混ぜる)
- ・一人ひとりに袋の中身を触らせますが、それが何かを言い当てるのは、全員が触ってからということにします。触りたがらない生徒もいるでしょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「触っていて気持ちの良かったものはありましたか。触りたくなかったものはありましたか。」
- ・「袋に手を入れたくなかった人たちは、どうして嫌だったのですか。このゲームには、少し怖いところがありましたか。」(気持ち悪い物に触ってしまったので、もうこれ以上気持ち悪い物に触りたくなかった。誰かが「うわっ！」と言ったり、変な顔をしたりしたものには触りたくなかった。何が入っているのかわからないので、怖くて触りたくなかった)
- ・「時々、私たちの周りにあるものが怖いと思うことがあります。けれども神さまのことを怖がる必要はまったくありません。」
- ・ルカ1:30を読みます。「天使はまずマリアに、『恐れるな』と言いました。」
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

神さまは私のお友だちです。怖がる必要はありません。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。

◎ 献金 準備:子どもと一緒にイエスさま、または微笑んでいるイエスさま、または腕を広げたイエスさまの絵のついた献金入れ

- ・「私たちの献金は、〇〇(今期の13回献金の行き先)の人々に、イエスさまが一番のお友だちだということを知らせるために使われます。」

◎ お祈り 準備:黒板とチョークまたはホワイトボードとマーカー、聖書

- ・祈りの課題や心配事を挙げてもらいます。リストを全員から見えるところに書きましょう。
- ・この課題を家にある「祈りのカレンダー」に加えるように言います。
- ・ペトロ1・5:7を読みます。
- ・挙げられた課題を、希望者に祈ってもらいます。
- ・神さまに、私たちの世話をし、心配事を聞いてくださるすばらしいお友だちでいてくださることを感謝します。

第11課 わたしへのおくり物？

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

自然物の標本の置いてあるテーブルに行くよう指示します。大人か青年のアシスタントに、監督についてもらいましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 完全な贈り物の観察 準備: 自然物の標本

◎ 活動

・子どもたちに、自然物の様々な標本が置いてあるテーブルに行くよう指示します。

自然物の例)貝がら、花、カブトムシ、亀(もし手に入れば)、魚の入った水槽、動物の皮革、すべすべした石または水晶

(オプション: 小さな虫眼鏡や定規、顕微鏡などの観察用器具)

・科学や自然に興味のある大人がアシスタントにつき、子どもたちが標本を観察するのを助けます。

◎ 話し合しましょう

・「観察していて、一番驚いたのは何ですか。」(答えを聞きます)

・「きれいだったのは何ですか。」(答えを聞きます)

・「神さまのつくられた、完全で、驚くほど素晴らしい、美しいものを見ると、どんな気持ちになりますか。」(驚く。感謝の気持ちになる。など)

・「ここにある標本は、どこから来ましたか。」(答えを聞きます)

・「その前はどこにありましたか。」(答えを聞きながら「その前は?」と聞き続け、元々は神さまがそれらをつくられたことに、子どもたちが気づくようにしてください)

・「神さまはこういった贈り物に値段を付けられましたか。」(付けていない。私たちへの贈り物としてただくださった)

・「神さまが贈り物としてくださった石に、高いお金を払う人がいるのはなぜでしょう。」(みんなで分け合うということをしないから。売っている人がいるから)

・ヤコブ1:17を読みます。

・「神さまが私たちにただくださった、完全で、最高の贈り物は何でしょう。」(イエスさま)

・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

神さまは完全な贈り物をくださいます。

その中でも最高のものがイエスさまです。

B 欲しいものリスト 準備:古新聞、古雑誌、カタログ、はさみ、テープ、イエスさまの絵、紙袋

(または紙と鉛筆、「イエスさま」と書いた紙、紙袋)

◎ 活動

- ・新聞や雑誌、カタログを渡し、クリスマスに欲しいものを2つ選んでその写真を切り抜くように言います(または、欲しいものを1枚の紙につき1つずつ書かせます)。
- ・全員分の写真(または紙)を、あなたがあらかじめイエスさまの絵(または「イエスさま」と書いた紙)を入れておいた袋に入れます。
- ・子どもたちは袋から1枚ずつ写真を取り出します。その写真を、良い物からそうでもない物の順にランク付けをして、黒板か壁にテープで貼っていきます。
- ・どの贈り物が一番良いかを話し合わせましょう。話し合いで決まらなければ、投票をしても良いでしょう。
- ・イエスさまの写真は最後まで取っておきます。
- ・子どもたちに、イエスさまはこのランキングのどこに入れたらよいか聞きましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「みんなは普段、イエスさまのことを贈り物だと思っていますか。」
- ・「イエスさまが神さまからの最高の贈り物だということを、私たちは忘れてしまいがちです。このリストの中で、永遠に残る贈り物はたった1つしかありません。それは何でしょう。」(イエスさま)
- ・「ここにある他の物は、時間が経つとどうなりますか。」(壊れてしまう。飽きてくる。私たちが成長すると使わなくなってくる。など)
- ・「みんなが最高の贈り物だと決めた物でさえ、永遠に残ることはできません。実はそれが、神さまが私たちにイエスさまを下さった理由なのです。イエスさまのおかげで、私たちは永遠に生きることができます。」
- ・「最高の贈り物のイエスさまについてどう思いますか。」(どう思うかを表すのは難しい。とても素晴らしい。これ以上の贈り物はない)
- ・「イエスさまという、神さまの最高の贈り物を受け取りたいですか。」(手を挙げさせます)
- ・「今日のメッセージは何でしょう。」

メッセージを一緒に言いましょ

神さまは完全な贈り物をくださいます。

その中でも最高のものがイエスさまです。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。お話の中に贈り物は出てくるでしょうか。
- ・宣教師はイエスさまを伝えます。イエスさまこそ最高の贈り物なのです。

◎ 献金 準備:ラッピングされた箱(9課で使ったもの)、「イエスさまは最高の贈り物」と書いた札

- ・「私たちの献金は、イエスさまへの贈り物です。この献金は、人々がイエスさまという神さまの最高の贈り物を知るために使われます。」
- ・「献金を捧げることで、私たちは神さまに、この素晴らしい贈り物への感謝を表しているのです。」

◎ お祈り

- ・祈りの課題と、お祈りが答えられたかどうかを尋ねます。
- ・この情報を家にある祈りのカレンダーに書くように言います。
- ・3、4人で祈りの組をつくります。子どもたちは、イエスさまという最高の贈り物をくださったことを感謝し、イエスさまを受け入れることを神さまに伝えます。
- ・最後に、クリスマスは最高の贈り物であるイエスさまのためにあることを、忘れないでいられるよう祈ります。

第12課 天使たちが歌った夜

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。

お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A

喜びの音楽

準備:リズム楽器、CD プレーヤー、クリスマス賛美歌の CD

◎ 活動

- ・様々な種類のリズム楽器を配り、音楽で喜びを表現する練習をさせます。
- ・楽しいクリスマス賛美歌を何曲かかけます。
- ・子どもたちに、CDに合わせて一緒に歌ったり楽器を演奏したりするよう促しましょう。

◎ 話し合しましょう

- ・「どの楽器が一番『喜び』を表す音を出すと思いますか。それはなぜですか。」
- ・「一番『喜び』が少ないのはどの楽器でしょう。これ以外に、どうしたら音楽で喜びを表すことができますか。」(音楽に合わせて身体を動かす。ハンカチを振る。楽しそうに歌う。など)
- ・「楽しい歌を歌ったり演奏したりすると、どんな気持ちになりますか。」(幸せになる。気分が良くなる。など)
- ・ルカ2:13、14を読みます。
- ・「天使たちはどんな歌を歌ったと思いますか。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは私に喜びを与えてくださいます。

B

喜びのジェスチャー

準備:色のついた薄手のスカーフを人数分、CD プレーヤー、クリスマス賛美歌の CD

◎ 活動

- ・色のついたスカーフを配り、子どもたちが一番楽しいと思う音楽をかけます。
- ・子どもたちは音楽に合わせてスカーフを振ります。

◎ 話し合しましょう

- ・「音楽に合わせてスカーフを振るのは楽しかったですか。喜びを感じましたか。」
- ・「これ以外に、どんな動作が喜びを表していると思いますか。」(子どもたちの提案を聞きます。もしできそうなら、子どもたちの提案した動作をやってみると良いでしょう)

- ・「どうしてそんなに楽しい気分になれるのでしょうか。」(子どもたちの答えを聞きます)
- ・「メッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは私に喜びを与えてくださいます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。生徒たちは、先週の学びを生活の中でどのように体験したかを話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・お話の中に、喜びを感じさせてくれるものは出てきましたか。

◎ 献金 準備:クリスマス用の装飾をしたバスケット(どこかに「喜び」という言葉をつけておく)

- ・「私たちの献金は、人々がイエスさまのくださる喜びを知るために使われます。」

◎ お祈り

- ・子どもたちに、9課でつくった祈りのカレンダーを使っているかどうか尋ねましょう。
- ・お祈りに答えてもらえた人はいるでしょうか。
- ・それから、喜びをテーマにした「ポップコーン式祈り」をします。子どもたちは輪になり、目をつぶって、自分に喜びをくれる物を言って神さまに感謝します。これをポップコーンがはじけるときのように、いつでもどこからでも言っていることにします。
- ・最後に大人が、イエスさまという贈り物と、その贈り物のもたらず喜びを神さまに感謝します。

第13課 主よ、お約束どおりです

教室の入り口で生徒たちを迎えます。

どんな1週間だったか(嬉しかったことや困ったことなど)を尋ねましょう。お話の前に、状況に応じてどの活動をするか選んでください。

A 綱引き 準備:長いロープ、マスキングテープ

◎ 活動

- ・マスキングテープで、床に中心のラインを引きます。
- ・子どもたちを2つのチームに分け、どちらにも大人が1人以上入るようにします。
- ・子どもたちは、チームごとに、中心のラインに向かって縦に並びます。
- ・一番力のある人が列の最後につき(「いかり」役)、ロープを身体に巻きつけます(安全のため、「いかり」は大人がやってください)。
- ・子どもたちはロープをつかみ、力いっぱい引っ張ります。
- ・相手チームの人に中心ラインを越えさせたら勝ちです。(注意:子どもたちがロープを手首に巻くことのないようにしてください。重大な事故につながる危険があります。)
- ・2分間引っ張り合うか、どちらかのチームが勝ったら、子どもたちをあなたの周りに集めて話し合いをします。

◎ 話し合いましょう

- ・「綱引きはどうでしたか。」(引っ張られた。引っ張った。など)
- ・「一番後ろの人を『いかり』と呼びましたが、それはなぜでしょう。」(一番強いから。など)
- ・「『いかり』役の人がどうしてくれることを希望しましたか。」(自分たちが引っ張られるのを防いでくれる)
- ・「希望とは何でしょう。」(自分の願っていることがかなうといい、という気持ち)
- ・ヘブライ6:19を読みます。
- ・「希望とは、私たちの人生にとって『いかり』のようなものです。私たちに安心を与え、心配しないで済むようにしてくれます。私たちに希望をくださるのは誰でしょう。」
- ・テサロニケ2:2:16を読みます。
- ・「イエスさまは、私たちが『いかり』を下ろすことのできる、最高の岩です。それについてどう思いますか。」(イエスさまを信頼している。イエスさまと一緒にいると安心する)
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは私に希望を与えてくださいます。

B 風船遊び 準備：風船、ひも、扇風機

◎ 活動

- ・子どもたちは、風船をふくらませて口を縛ります。
- ・少しの間風船を打って遊ばせます。
- ・「話し合い」の間は風船をちゃんと持っているよう言いましょう。

◎ 話し合いましょう

- ・「私たちは風船のようなものです。」
- ・扇風機のスイッチを入れます。1人に、自分の風船を扇風機の風が当たるところに持ってくるよう言います。
- ・「風船が飛んでいってしまうのをどうやって防ぎますか。」(ひもを椅子に結ぶ。手首に結ぶ。何か重いものに結んでおく。など)
- ・「そうですね。風船が飛んでいってしまわないように、何か重しを付けておかないといけませんね。」子どもたちが風船に重しをつけるのを手伝い、扇風機をまた少しだけ回して、重しの具合を確かめます。
- ・扇風機を止めてから言います。「私たちが人生に重しをつけるとき、その重しは、私たちの人生を沈めるのではなく、高い所に上げてくれます。どういうことだと思いますか。」(イエスさまが安全なところに導いてくれる)
- ・「希望とは重しのような物です。辛いときにも、私たちが勇気をなくしたり、『飛ばされて』いつたりするのを防いでくれます。私たちが目の前の問題ではなく、助けてくださる方を見ることができるようになります。」
- ・「希望はどこから来るのでしょうか。」テサロニケ2・2:16を読みます。
- ・「今日のメッセージを一緒に言いましょう。」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスさまは私に希望を与えてくださいます。

◎ お祈りと賛美(随時)

◎ 交わりの時間

- ・部屋の入り口で生徒たちに聞いた、嬉しかったことや困ったことを(適宜)みんなに話します。
- ・お誕生日や特別な出来事、何かをやった成果などを発表します。
- ・ビジターのお友だち全員を温かく歓迎しましょう。

◎ 伝道地便り

- ・子どものための伝道地便りを読みます。
- ・「お話の中で、希望を持っていた人、または希望を必要としていた人は誰でしょう。その人の人生

は、どこに『いかり』を下ろしていましたか。」

◎ 献金 準備:クリスマス用の装飾をしたバスケット(どこかに「希望」という言葉をつけておく)
・「私たちの献金は、人々がイエスさまを知って希望を持つようになるため使われます。」

◎ お祈り 準備:「いかり」の形をした切り抜き
・子どもたちに「いかり」の形をした切り抜きを渡します。
・子どもたちはそこに、希望を失っているように思われる人の名前を書きます。
・それから、名前を書いた人のためにそれぞれで黙祷します。
・最後に大人が、クラスの全員が神さまに「いかり」を下ろすことができるよう祈ります。